

全仏

NO. 225

2 / 52



日本大会に

むかつて

昭和五十年、神戸市において開催された第三回全日本仏教徒会議兵庫大会で、世界仏教徒会議(WFB)日本大会の開催が決議され、それにもない理事会で承認され、この旨を受けバンコックで開かれたWFB執行委員会で、罇淵事務総長より、日本にて開催の用意ありと表明、続くWFB総会で正式に決定されました。

これにもとずいて、五十一年十月六日WFB日本大会の準備委員会が、発足しました。

諸々作業が進展し、本年四月より実行委員会が昇格し、活動をより充実させる予定であります。

これを機会に、仏教意識の昂揚とその実践を期し、大会が成功にみちびける様、各位の積極的な協力を、お願いする次第です。

TBSテレビに出演し、バンクグロディッシュの
難民孤児救済を呼びかける罇淵事務総長とヒ
長老(中央) 四・五・六・七面記事参照

WFJB日本大会に寄せて

感謝報恩の一大合掌

埼玉県仏教会々々長
大島 見道

何事をするにも、天の時・地の利・人の和が大切で、なかでも人の和は、一番大事である。全仏の組織は、団体ばかり大きくて、栄華が行きわたっていないから、その点、憂いなしとしないが、それを乗りこえる大勇猛心を、いかにして、ふるいたたせるかである。成功するか否かは、一つにかかって、人材にあり、その人人の和を育てはぐくむことが、できるかどうかにある。手をにぎりあい、肩をくみあつ

て、仏陀の前に感謝報恩の一大合掌をささげようではないか。

意義ある大会を

大阪府仏教会々々長
西口 公教

全仏十一月号の麻布照海師の「日本仏教徒の面目」についての記事に全面的に敬意を表し、本大会の成功を祈ります。

さきのタイ大会に大阪府仏からも多くの参加をいたしました。ただ参加しただけで何の意義もなかったと不満が寄せられています。この度も九十七名の準備委員が選出

されていますから、この方々によって決定された事項については、府仏として可能な範囲の協力を致します。

大衆を生かす大会

京都府仏教会事務局長
宮城 泰年

現下の世界情勢を正しく認識し、釈尊の慈悲の教えに基づいた内容の会議を運営されたい。また、日本十万人の僧侶のうち一握りの会議にならぬよう、何らかの形で、参加したという意識のもてる動きかけを望む。

経費は大きい。多すぎたという批判を受けぬよう有効適切に使用される

ことが、各宗団、各地区仏教会の今後の協力を期待するものと思う。大衆を生かした会議の成功を切に祈る。

フレッシュな空気を

滋賀県仏教会々々長
木辺 宣慈

第十二回世界仏教徒会議が久方ぶりに日本において開催されますことは、我々日本仏教徒にとりまして大変よろこばしく思います。そして同時に世界でも最も繁栄している仏教国における開催は、国外の仏教徒も大きな期待を寄せているでしょうから、それに応える内容のある大会であってほしいと思ひますと共に、日本の仏教界に対してこのWFJB大会が何かフレッシュな空気を送り込んでくれることも併せて大いに期待します。

全日仏青総会開く

新理事長に平原隆秀師

全日本仏教青年会の結集が昭和五十二年一月二十二日午後二時より港区の仏教伝道協会会議室で行なわれた。

この結集は組織の再強化ということが目的で行なわれたものである。昭和四十

九年二月十三日やはり同じ場所で開催された全日仏青結成大会が行なわれ、新たに増田貞円氏を理事長に選出、事務局長を井桁雄弘氏に決定し、会則の確認のもと、力づくで発展する為、その年の十一月六日

順会館で全仏京都大会が行なわれた時、青年部会で新たに全日本仏教青年会が再結成されたのである。が月日の推移とともに浮沈の多い仏教青年会の運命であるが、全体に不調をきたした為、ここに新たに再確認、再強化の為会合がもたれたのである。

始めに開会のことは井桁事務局長が行い、続いて三浦依文を龍山全仏組織局長の導師によって行なわれ、そのまま龍山全仏組織局長が基調講演にかわって換

移を行なった。その内容は全仏埼玉大会を契機として昭和五十三年に開催される世界仏教徒大会日本大会青年部門に大きく発展して欲しいとの激励の言葉であった。

続いて自己紹介を行なった。以下、議長選出(正議長に杉谷義純氏、副議長に永倉嘉文氏)を行ない、議題に従って会議を行なった。

- 一、経過報告
- 一、埼玉大会青年部会の件

- 一、WFBY日本開催の件
- 一、組織強化の件
- 一、役員選出の件

経過報告については先に述べたとおりであるが、この結集の会に集まった人全部を一応理事として、全日本仏教青年会理事総会として会議をすすめることになった。当日増田理事長は葬儀のため多少おくれて会に到着した。

埼玉大会青年部会の件については必ず実行することを確認。

WFBY日本大会開催の件については全仏当局では世界大会青年部会を考えているので、全日仏青を組織強化し、準備委員を選出して実行にうつってほしい旨、全日仏青組織部長よりお願いがあった。

組織強化の件については、今日宗派及び地域仏青に所属する人々が出席なされていることであるので、それらの人々を根幹として新たに全日仏青の組織づくりをし、各単位仏青の連絡をきめこまかにしていくことと親睦をはかることが大事であるということを確認。

役員改選の件については監衡委員を当日出席者の中より十一名選出、三名の理事長候補を選んだ。増田理事長との話し合いの結果、埼玉県仏教青年会々々長平原隆秀氏が新理事長に選ばれた。尚新人事は新理事長に一任され新たな事務局長は同じ埼玉県仏教青年会の鈴木永城氏に決定。会計監事はえらばれた理事会にて互選することにした。

尚、再確認する意味で三月上旬もう一度この結集を開催することにして閉会。

宗務総長会

52年度事業計画など協議

全日本仏教会の宗務総長会は十二月二十三日、京都・知恩院の和順会館において開かれ、田辺理事長挨拶のあと議事に入った。

- 1 昭和五十二年度事業計画について
- 2 昭和五十二年度歳入歳出予算について
- 3 第十二回世界仏教徒会議日本大会について

以上三つの協議事項について慎重に話

しめやかに本葬

孝道教団・岡野副総理が急逝

孝道教団の岡野貴美子副総理（全日仏国際専門委員長）は十二月二十一日、孝道山本部にある自室にて脳出血のため急逝した。七十四歳。天台宗大僧正、全日仏副副会長。

密葬は同二十三日午後一時から比叡山中山玄雄大僧正の導師のもとに執行されたが、「法の母」と慕われる副総理の突然の遷化は孝道山を深い悲しみにつつま、強い衝撃をあたえるものである。

本葬儀は一月二十三日、天台座主・山田恵諦下大導師のもとに、悲しみの孝道山本仏殿においてしめやかに執り行なわれ、仏教関係者、外国大使館、信者

しあわれ、それぞれの項目においてさらに修正すべき点があるため、事務局において再検討することとなった。

出席者（敬称略・順不同）

- 田辺哲崖（曹同） 藤音晃祐（本派）
- 嶺藤 亮（大派） 無垢品尊生（浄土）
- 江西寛堂（妙心） 阿部野竜正（高野）
- 別所弘因（智山） 熊野竜夫（豊山）

「沖繩遺骨収集団」

日蓮宗で第一次隊出発

日蓮宗では「沖繩戦没者三十三回忌慰

とう多数が参列し焼香した。

副総理の死を悼む

鱗淵全日仏事務総長「突然の悲報に驚き大きなショックをうけております。長い間、全日仏国際専門委員長としてご尽力いただき、その残された功績は大きなものがあります。世界仏教徒会議日本大会を迎える大事な時期だけに遷化は惜しまれてなりません。」

鎌田全日仏国際部長「孝道教団のみならず仏教界にとつてたいへんなマイナスです。世界的視野で大局をみつめる姿はわれわれの学ぶところであり、その気持をWFBJP日本大会にぶつけるつもりです。いつにもこやかにされておりました。が、とくにバンングラナイケ首相の歓迎会での笑顔をわすれることはできません」

「霊法要」を四月に摩文仁の丘において執行する一環として「沖繩遺骨収集団」を派遣することになり、その第一次隊が一月二十五日出発した。

同収集団は日蓮宗の青年僧侶が中心ではあるが、収集地域は沖繩本島最南端・喜屋武岬一帯のジャングルのため収集にはきわめて困難であるといわれる。しかし最後の激戦が行われた地区の一つでもあるため、収集団は広範囲にくまなく捜索をするので、その成果に期待がもたれている。

なお第二次は二月十三日、第三次は二月二十三日からそれぞれ収骨活動を始める。

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (481) 4965



バングラディッシュの路上にならぶ貧しい掘立て小屋

バングラディッシュの孤児に愛の手を!!

心に残る子達の歌声

前国際文化局長

清 胤 徹 昭

私が全日仏国際文化局長に在職中の昭和五十年十二月の始め、バンコックWFB本部における常任理事会と、ブツダガヤ日本寺の結集に出席することをかねて、鎌田部長と二人でバングラディッシュ、ダルマージカ孤児院を訪問した時のことは生涯忘れることの出来ない思い出となった。

かつては、ベンガルの詩人タゴールが「黄金の大地」というたったこの国も、今では人口七千五百万人をかかえ、飢えに飢えている。首都ダッカに足をふみ入れたとん、やせ細り、目ばかりが大きくギョロつく子供達が密って来る。うっかり一人に何か手渡そうものなら、たちまち人だかりがして身動き出来なくなる。この子供達に何の罪があるわけでもないのに……と考えこんでしまう。

こうしたショックは、ダンマラージカ孤児院を訪問して一そうはげしくなる。独立戦争後、バングラディッシュ仏教会長ヴィシュッダナンダ長老の努力で建設されたこの施設は、ダッカの街はずれにある。当時男子が五十名ほど収容されてい

た。この子供達は町で見かける子供達よりはるかに身ざれいで、健康そうであった。

しかし、施設のかたすみにある小屋の中に一歩足をふみ入れて驚いた。頭だけが大きく、目が異様に光る、まるで干乾しになったような子供が二十人ばかり、まる裸でアンペラの上にゴロ寝をしているではないか。彼等は起き上る力も、泣きわめく力もつき果てた様子で、不意の訪問者をうつろな眼ざしでじっと見つめていた。

中にはひどい皮膚病にかかった子もいる。この子供達には親がいるものが多いと聞かされた。親がいても充分食べさせてもらえない。それでお寺が毎日地区ごとにもうした子供を連れて来てわずかながら食事をあたえては帰すのだという。

小屋の外に皮ふ病にかかった乳のみ子をかかえたみずほらしい母親が二人いた。母体そのものがすでに飢えている。その母体から生まれて来る子供はもって知るべし。それなのになお生むことをやめるわけにはいかない人間の性の悲しさ

を思わずいられた。なかった。

孤児院は今拡張の必要にせまられてい
る。全日本仏教会からおとけした浄財
で一階建の施設が三階建に増築されてさ
きほど完成を見た。しかしまだまだ熾石
に水である。パングラティシユでは国民
の八七%が回教徒、ヒンズー教徒が約八
百万人、仏教徒はわずか五十万人しかい
ない。その先頭に立つのがヴィシユッタ
ナンダ長老であり、スッダナンダ事務局
長である。

ダッカのダンマラージカ孤児院のほか
もう一つ、南部のチタゴンには百十人ほ
どの男女を収容するアグラサラ孤児院が
ある。この拡張も将来の願いだという。
数少ない仏教徒ではあるが、こうした社会

孤軍奮闘の 孤児院

国際専門委員

松 涛 弘 道

それは昨年夏の夏のことである。私は全
日仏の要請を受けて、急速パングラティ
シユのダッカ市内にあるダンマラージカ
孤児院の落成式に参列することになり
カルカッタ経由で空路ダッカ入りをし、
ただちに孤児院へ赴いた。

院内に入るやいなや、驚いたことにあ
どけない約七十名の孤児たちが整然と列
んで待ち受け、声高らかにパリー語の三
婦依文の合唱という思いがけない歓迎を
してくれたのである。かわいらしい手を
合わせて無心に唱えるその姿には天涯孤
独になったみじめさはなく、仏さまを親

事業を通じて、今彼等は真剣に仏教弘通
の情熱を燃やしている。

師の教えに沿う子供達が仏陀の平和
の精神をこめて、ベンガル大地に真赤な
夕日の沈むころ、声をそうえてうたつて
くれた唱えが今も耳に残っている。

今般ヴィシユッタナンダ長老、スッダ
ナンダ事務局長の来日をききながら、前
途多難な道に、少しでも全日本の仏教界
が理解をよせられるよう念じつつ思い出
の一筆を走らせた。遠く松江の地にあつ
て両師に親しくお目にかかれなかったこ
とは残念であったが、両師の益々の御健
勝と、パングラティシユ仏教の興隆を念
じてやまない。

として、そのあたたかい慈悲の手に抱か
れている安心感がみなぎっていた。

パングラティシユは御承知のように一
九七一年にパキスタンから独立した新興
国で、その後、サイクロン水害や印パ戦
争に巻き込まれ、国民の年間所得は平均
一人あたり二万円程度という世界一悲惨
な生活を余儀なくされている。国民の大
多数は回教徒という不利な条件のもとに
孤軍奮闘する仏教孤児院の存在は闇夜に
一抹の光明を見出すおもいで、その経営
維持がいかに至難なものであるかは想像
に難くない。さいわいパングラティシユ

仏教界の父と仰がれるビシユダナンダ長
老以下僧俗一体となって献身的に奉仕し
ている姿をまのあたりに見てその経営が
軌道に乗り一人だちするまで、同じ仏教
徒として、何とか側面から援助の手をさ

援助が少なすぎ

埼玉常務理事

北之内 真 龍

昭和五十年六月二十三日、全仏の鎌田
部長・東仏の山田氏に随行して、パンク
ラ国を訪問した。

ダッカのダンマラージカ仏教孤児院の
なかをみせてもらう。境内は五千坪ある
とか。長方形の大きな池がある。この池
で、孤児たちみんなが身体を洗ったり、
洗たくしたりするらしい。

レンガ建での平家が一棟あり、なかは
講堂が主体で、長老室や応接室もある。
ほかに 竹であんだ掘立て小屋が、いく
つも建っている。

その竹小屋の うすぐらい中をのぞい
てみると、土間に幼児が、まるはだかで
何十人もたむろしている。夜は土間にね
ころんで、やすむのだろうか。小屋のな
かは全部土間で、なにひとつ、設備も品
物もない。徹底した貧しさが、よく解る
というものである。

玄関で出迎えてくれ、講堂で歓迎して
くれた十歳前後の子どもたちは、ちゃん
とした服というわけにいかないが、一応
の服をきています。今日に限って特別に着
せたものでは、ないそうである。

しのべる必要を痛感している私もさや
かではあるが、仏書出版によって得た印
税を「仏のものはおかえしする」気
持で寄進させて頂いている。諸大徳の皆
様からの応分の御喜捨をお願いしたい。

二十五日、チタゴンのアグラサラ仏教
孤児院へ行く。市内のアグラバッドホテ
ルから車で一時間ぐらいのところ、広
い田んぼのなかに立っている。

煉瓦作りの家が二棟あって、一棟は、
お釈迦さまがお祭りしてあり、一棟には
女の孤児が、二十人ぐらいいる。左手の
掘立て小屋には男の孤児が三十人ぐら
いた。家のなかに全く設備がない。夜は
着のみ着のまま、コンクリートの土間
に眠るのであろうか。ここでも、貧しさ
がひしひしと土を通して感ぜられる。

パングラ国の総人口七千五百万人。フ
イブイ教が九〇%、あとの一〇%をイン
ド教やキリスト教。仏教でうめている。
仏教徒は、わずか五十万人、仏教寺院は
三百寺にすぎないという。

そうした事情のなかにあって、チタゴ
ンで三十年前から仏教孤児院を経営、ダ
ッカでは、三年前から始めたという。チ
タゴンの孤児院で男女百二十人、ダッカ
で男五十二人だという。

戦禍にあって、どん底の貧しいなかに
よく多勢の孤児を奉仕的にめんどろみ

ているのに感心させられるフイフイ教やキリスト教など、他の宗教団体の孤児院は、大きな施設で、力強い援助もあり、立派にやっているのだそうだが、視察する機会は、与えられなかった。

二十七日、ダッカ空港で、石油会社の日本人と話したが、彼いわく「何万人という避難民収容所をみてきたが、そこでは毎日、何百人かが死んでいる。孤児

院に入ってる子どもは、まだ幸せなのだ」といっていた。

こちらの用むきを話すと、彼いわく「各党派連合の全日本仏教会で、たった五百三十万円なんて、あんまり少なすぎるではないか。インドのお釈迦さまの教が、インドでなぜ滅び、なぜ復活しないのか」と、一番いたるところを突かれて、閉口した。

バングラ孤児救済

救援金続々寄せられる

全日仏では昭和四十九年十一月よりバングラディッシュの難民孤児救済募金運動を展開し、八百万円の救援金を同地の仏教孤児院へ贈呈したが、このたびその孤児救済に努力されているビッシュダナン女長老（バングラディッシュ仏教会会長）一行が、その答礼とさらに援助を要請するため来日した。TBSテレビ等で苦しい実態と救済を呼びかけたところ、全日仏に続々と浄財が寄せられている。

救援寄金（一月二十五日現在）

五十万円

全日本仏教会

三十万円

川崎大師平間寺（神奈川県）

二十万円

孝道教団（神奈川県）

十五万円

シスター・メリー・ヘレン（京都）

十万円

妙心寺（京都） 芝海運KK、鈴木大兵衛（東京） 松海弘道（栃木） 五万円

松本てる子（東京） 花園会館（京都）

高木亮孝（和歌山）

三万五千元

河野裕之（愛知）

二万五千元

佐藤泰子（福島）

二万円

工坂美智子（東京）

一万円

諸田蓉子、東京放送朝のワイド制作部

高木（東京） 片桐みね子（岡山） 石出

きみ子（広島） 江成正、川崎大師初詣

（神奈川県） 稲本せい（愛知）

七千八百十二円

見晴通り（東京）

七千七百二十一円

高橋裕子・幾代（東京）

真の合掌の心を生む御仏像を 檜の一刀彫聖観世音菩薩

今日の空しいことの多い人間社会の中で、仏の偉大な力を授かるうとする人々は数多くおります。そんな時、我が心の寺院が、戦前戦後の混乱期に、尊い御尊像を失って、魂こそ残ってはいませんが、お姿の見られない、という話を聞きます。ここに当協会の長年の指導のもとに観仙一門が心血を注いで謹刻しました一灯、一華を献じさせられる気持になる聖観世音菩薩立像です。限定木彫として、宗教法人の皆さまに格安にて御奉仕させていただきます。

お申込み方法は電話又はハガキでお問い合わせ下さい。

受付電話 **東京03(八二六)五六四一**



全長 84cm (2.75尺)
材質 檜
価格 ￥ 320,000

日本彫塑普及協会御尊仏奉仕部

〒113 東京都文京区白山一〇三〇一

電話03(八二六)五六四一

五千円也

神尾圭一(広島) 久保田和江、橋口朋

美・洋子、諸田実(東京) 岡田秋子、

岩崎進(山口) 光地美学(埼玉)

四千六百三十一円

小坂久男(東京)

三千円

鎌木敏子(東京) 福井志津江(兵庫)

田淵公張(大阪) 戸田寿子、服部茂、

荒井久代(千葉) 黒田久子(北海道)

近代配薬KK(神奈川) 桑原滋子(山

口) 横川喜美子(岐阜)

野崎宏美(東京)

二千円

松崎由美子(大阪) 藤森護二、奥山千

代野、鳥海幹雄、石井利幸(東京) 渡

辺満二(奈良)

一千五百円

川崎某(東京)

一千円

佐橋武、井庭規一、吉田唯義(大阪)

池尾政子(東京) 林陽子(千葉) 松橋

三千子(北海道) 浦島某(愛知) 角谷

泰枝(神奈川)

バングラディシユの孤児に愛の手を!!

バングラディシユは、印パ戦争の影響や、モンスーンなどの天災によって大きな被害をうけ、おびただしい難民に混じって、幾多の孤児が飢えと病いに苦しんでおります。

ダッカとチッタゴンに在る「仏教孤児院」には四百名にのぼる孤児が収容され、仏教教育をうけ、リハビリテーションを通じて、社会復帰に努力しておりますが、日常の食糧、衣類、薬品にいまなお相当の欠乏を見ており、そのうえ孤児院に入れない孤児がまだまだ多数いるという窮状を、同じ仏教徒として黙視し得ない現状であります。

何卒これら幾多の孤児救済のために皆様の善意を伝達いたしたく、救援資金の募集をいたしておりますので、御

目的 バングラディシユ国ダッカ市在タンマラジカ仏教孤児院・チッタゴン市在アケラサラ仏教孤児院に対する救援

送金先 東京都台東区西浅草一の五の五(財)全日本仏教会事務総局 振替 東京2・59547 (財)全日本仏教会

口座 東海銀行浅草支店 一三五―四三七 全日本仏教会・鎌田良昭 主唱 財団法人 全日本仏教会

TBSで救援要請

バングラのビ長老一行

既報のとうり孤児救援の善札とさらに援助の要請のため来日したバングラディシユのビシユダナンダ長老一行は、二月十四日にTBSテレビ「奥さま八時半です」に、全日仏・鱗湖事務総長とともに出演し、現地の苦しい実態と救済を呼びかけ大きな反響をよんだ。

――まだ孤児は多いようですが…。

ビ長老「そうです。まだまださんの孤児がいますが、その数はつかめないくらいです。孤児院に入れない子供がたくさんいます」

――食事などはどうですか。

釈迦如来像、開眼法要

川崎大師平間寺で

智山派大本山川崎大師平間寺(高橋隆天眞首)では、本年開創八百五十年を迎えるにあたり、これを慶讃して大山門建立(十一月完成)など各種の記念事業がすすめられているが、今回「降魔成道釈迦如来像」が完成して、去る十二月一日に如来像勧請と仏舎利奉安法要が執行され、八日には盛大な入仏開眼法要が厳修された。

この釈迦像はアジア現代美術展副理事長・矢崎虎夫氏の製作で、像の高さ一・八メートル、台座六十九センチのプロン

(せんべいのようなもの)やカレーのようなものを食べてます。しかしそれ以外に飢えた子供たちがおおせいいるわけでそういう子供たちの収容施設をもっと造りたいわけです」

――教育はどうなってますか。

ビ長老「義務教育になってはいますが、通学できる子供は僅少で、教育そのものがむずかしい状態です。しかし極貧の中でも、子供たちは何か学ぼうとしてますので、そういう面にも努力したいと考えております。それだけに学校もつくりたいと思っております」

――日本のみなさんに何か…。

ビ長老「とにかく何も無い、という状況です。子供たちはそんな中で明るく暮らしていますのでよろしくお願いします」

ズ像で、仏身は金箔でおおわれ結跏趺座し、右手は静かに大地を指す。胎内には真身仏舎利が奉安されたが、この仏舎利は、高橋眞首が、一昨年十一月ブダガヤにおける日本寺落慶二周年記念法要のためインドを訪れた折、インド大菩提会を通じて勧請されたものである。

◆掲◆示◆板◆

頭本法華宗人事

▼頭本法華宗では役員任期満了に伴い、一月一日付をもって左記のような新人事が発表された。

管長・島田日竈、宗務総長・古瀬堅徳

4月8日はお釈迦さまのお誕生日

花まつり



花まつりの行事は年々盛大に繰り広げられておりますが、さらに全国的に浸透されておりますが、さらに全国的に浸透

せしめるために、全日本仏教会では写真のような統一したポスターを作成し、広くご利用いただけます。

くご利用いただけます。

う頒布しております。

明るい春の野に、静かに立って天と地をさすお釈迦さまの姿は、見る人の心に安らぎを与えることと思えます。

本年も各県仏都市仏・各寺院・幼稚園などで広くご利用下さい。

◎一枚百円（三十枚以上は送料全日仏負担—外国は別途）

花まつりポスターのご利用を

宗務次長・吉永正晴、教務部長・土持良栄、財務部長・中山昭夫、庶務部長・山本学人、布教部長・京藤哲夫、社会部長・渡辺昭夫

本門法華宗人事

▼本門法華宗では、中村弘通師が宗務総長に新しく就任した。

埼玉県仏人事

▼埼玉県仏教会では、先に逝去した興文丈会長の後任に、大島見道師を選出、また第二十五回全日本仏教会徒会議埼玉大会の準備委員長にも大島会長が就任した。

京都仏教会徒会議移転

▼京都仏教会徒会議事務局は、現事務局の養福寺移転にともない左記に仮事務局を

設置した。(仮事務局) 東山区祇園石段
下小堀町三〇一の一・すきふ石材ビル内
四F

事務総局録事(一月)

- 八日 局内会議
- 二十一日 局内会議
- 二十一日 WFB小委員会
- 二十二日 全日仏青總會
- 二十三日 孝道山副統理本葬参列
- 二十六日 常務理事会・宗務総長会
- 評議員会
- 新年懇親会
- 自民党大会出席

美しい日本の、国債。

宗教法人の皆さま、大切な資産運用に国債をご活用になりませんか。国が発行する債券ですから、もちろん安全確実。さらに宗教法人は免税団体ですので利息は非課税扱いになり年8%の大きな利息が、そっくり10年間、確保されます。また短期の資産運用をお考えなら、短期間でも有利な既発国債も利用できます。皆さまの資産運用が明日の国づくりにも役立ち、一石二鳥。ぜひ、今後の資産運用の柱に、国債をご検討ください。

野村證券

〒103 東京都中央区日本橋1丁目
電話 (03)211-3811(大代表)

昭和五十二年二月一日発行
二月号第一二五号
発行人 齋藤 正浩
編集人 齋藤 正浩
発行所 財団法人 全日本仏教会
東京都台東区西浅草一ノ五ノ五(東京本願寺内)
電話(03)211-3811